



—東地中海地域ニュース—

中東和平：ハマースの声明

(25日付ワタン紙)

シリアの25日付ワタン紙は、ザッハール在ガザ・ハマース指導部メンバーが行ったパレスチナ和解調印式でのマシュアル・ハマース政治局員の反論について報じている。

1. ザッハールの発言

ザッハールは、レバノンのアフバル紙のインタビューに対し、次のように述べた。

- (1) (マシュアル政治局長が、パレスチナ問題を交渉によって解決するために、パレスチナ・イスラエル交渉の「機会を与える」とのハマースの柔軟性を、パレスチナ和解調印式における演説で表明したことに対して) マシュアルの姿勢を我々は知らなかったし、彼は誰にも相談しなかった。また、この姿勢は間違っている。我々はファタハに対して、我々やパレスチナ国民を代表して交渉する機会や委任状を与えていない。
- (2) 我々がファタハにさらなる交渉を委任したというものがあれば、それはハマースの立場を代表していない。

2. イッサト・リシュクの反論

- (1) 同胞マフムード・ザッハール博士の声明は間違っている。同声明はハマースおよびハマースの諸機関の立場を表明していない。同声明は、ハマースで機能している組織の伝統を破るものだ。ハマースのリーダーに対して非礼な声明を発出することは許されない。
- (2) ザッハールにハマースのリーダーの発言を説明、訂正する権利はない。もし指導部の声明に反するところがあれば、ハマース政治局が、説明や訂正をする権限を与えられている唯一の機関である。
- (3) ハマース内に争いはない。ハマースは大きな責任を享受している。また、ハマースの決定は一つであり、まとまっている。

◎本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799